



瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



今日のみことば

待降節 第3主日 B年 (2023年12月17日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：イザヤ書 61章1—2a、10—11節

第二朗読：テサロニケの信徒への手紙一 5章16—24節

福音朗読：ヨハネによる福音書 1章6—8、19—28節

主の到来の準備

三つの朗読から

第一朗読の冒頭のことは、「主はわたしに油を注ぎ、主なる神の霊がわたしをとらえた」（イザ 61章1節）は、すでにわたしたちが知っているイエスさまの故郷での第一声を思い出させます。「主の霊がわたしの上におられる」（ルカ 4章18節）。イエスさまがなされた貧しい人々への救いのわざを思い起こして第一朗読を読んでもたらよいでしょう。その救いのわざに触れた人は「喜び楽しみ」、「喜び躍る」（イザ 61章10節）ようになるのです。

第二朗読も、わたしたちは時折、耳にする箇所です。「いつも喜んでいなさい」（1テサ 5章16節）という呼びかけは、「必ずそのとおりにしてください」（24節）という方が、必ずいらっしゃるといふ確信があるからこそ、応えることができるのです。

福音朗読の「あなたがたの中には、あなたがたの知らない方がおられる」という洗礼者ヨハネのことは、イエスさまを知っているふりをしているわたしたちへの痛烈な皮肉のようにも聞こえてきます。わたしたちはまだ、イエスさまを知らないのです。知らないからこそ洗礼者ヨハネの証しに耳を傾けなければならないのです。

ひとこと

各朗読の三つのみことばに注意しましょう。

第一朗読：「わたしは主によって喜び楽しみ」（10節）

主なる神さまおかげで喜びが来ます。新約の時代を生きるわたしたちにとって、「主」とはイエス

さまご自身を指^さします。イエスさまのおかげで、イエスさまを通^{つう}じて喜びと楽しみが生じるのです。

第二朗読：「非^ひのうちどころのないものとしてくださいますように」(23節)

欠点だらけ、罪だらけのわたしたちですが、いつか、神さまによって非のうちどころのないものとさせていただけるのです。そこに希望があります。

福音朗読：「なぜ、洗礼^{さづ}を受けるのですか」(25節)

洗礼者ヨハネが授ける洗礼は、悔^くい改^{あらた}めの洗礼です。しかし、イエスさまを起^{きげん}源として始まる洗礼は、神のいのちへと組^くみ入^いれられる洗礼です。

クリスマスの予定

12月24日(日)

待降節第4主日

ミサ時間：7時(修道院のミサ)、8時半、9時半

主の降誕の夜半のミサ

ミサ時間：17時、19時、21時

12月25日(月)

主の降誕の日中のミサ

ミサ時間：7時(修道院のミサ)、10時

新年と1月の予定

1月1日(月)

神の母聖マリア

ミサ時間：0時、10時

1月21日(日)

年間第三主日

ミサ時間：7時(修道院のミサ)、9時半

- 9時半のミサ後に信者総会、新年の集い、新成人お祝い
お茶とケーキを用意しています。
- この日は8時半のミサはありません。